

令和4年度 第1回岐阜市立図書館協議会 議事概要

日 時：令和4年8月4日（木）午後1時30分～3時00分

場 所：みんなの森 ぎふメディアコスモス 第一会議室

出席者：【会場11名】アンドリュー・デュアー委員（会長）、高橋綾子委員（副会長）、遠山健二委員、門屋伸子委員、浅井万穂委員、蒲勇介委員、中村正信委員、山田智直委員、米原木ノ実委員、田中一慶委員、千葉佐代子委員

【オンライン2名】嶋田学委員、平賀研也委員

【欠席1名】井戸一元委員

（事務局）吉成総合プロデューサー（オンライン）、川合館長、野々山係長、土谷係長、川瀬係長、中村係長、増田主任主事

傍聴者：なし

議事概要：

■報告や事務局提案に対する委員からの意見

（1）令和4年度事業計画について

- ・図書館においてイベント等の文化活動が非常に活発に行われているのは特徴的。
- ・イベントのアンケート等で、どの地域・エリアから参加しているか調査し、偏りがあればPR方法等の工夫が必要である。

（2）岐阜市立図書館がめざすデジタルアーカイブについて

- ・デジタルアーカイブは情報やデータを蓄積するだけでなく、利活用をできるようにするため二次利用が可能なオープンデータが求められる。
- ・図書館が目指すデジタルアーカイブの重点を、保存保護に置くか、利活用に置くのか考え方が重要。
- ・未来に何を伝えていくかの意識形成から始めてもよいのではないか。
- ・公民館や学校など小規模コミュニティにある地域の情報を記録していくことも必要。そのために各地域で活動している人たちとつながっていくことも必要ではないか。
- ・地域への愛着を考えた時に、子どもや高齢者それぞれの年代に合わせた対応が重要である。また、デジタルアーカイブを利用したい人に向けた、活用方法などのレクチャーがあるとよい。
- ・SNSを活用する世代もいるので、そこからの情報の吸い上げや参加を促すことも可能ではないか。
- ・図書館にある資料だけでなく、県や国などの図書館以外の機関にあるアーカイブを検索、利用することができる入口を整えることが大事。
- ・地域の情報をアーカイブしていくために、継続的、長期に携わるスタッフの確保と体制が必要ではないか。